

第二十一表 北硫黃島附近ノ海底噴火

年 (西曆)	月 日	記 事
明治十三年(一八八〇)		北硫黃島北之岬ノ西方約二哩ノ海底ヨリ泥土灰燼及ビ火焰ヲ噴出ス、翌年ニ及ビテハ既ニ火焰ノ噴出ヲ見ズ。 <small>(水路誌)</small>

第二十二表 南硫黃島附近ノ海底噴火

年 (西曆)	月 日	記 事
明治三十七年(一九〇四)	十一月二十八日頃	南硫黃島ノ北東約三哩ノ海中、即チ北緯二十四度十六分三十秒、東經百四十一度三十分ノ邊ヨリ噴火ス、中硫黃島ニテハ十一月十四日以後其ノ南方ニ當リ時々大砲ヲ發射スルガ如キ音響ヲ聞キタルガ、同月二十八日午前十時始メテ南硫黃島ノ東方約三海里ノ邊ニ於テ一條ノ煤煙ヲ認ム、其後約一時間ヲ過ギ黑煙頗ル猛烈トナリタルモ此時ハ何等ノ音響ヲ聞カズ、十二月五日ニ至リ始メテ噴煙中ニ小島ヲ發見セリ、翌明治三十八年二月一日ニ中硫黃島移住民有志者ガ探檢セルトキハ、新島ノ周圍約二千六百間(一里七町)、其ノ最モ高キ處、海拔八十間許、北端ニ小池アリ、周圍四百餘間、池中尙沸騰シ蒸氣盛ニ昇騰セリ、池ノ北岸ハ高サ三四尺